



きれいな環境で「きばらん海」を ～海の日環境美化活動

「海の日」の恒例行事、環境美化活動が、枕崎漁港を中心、火之神公園や台場公園など海岸一帯、広範囲にわたって行われました。

参加したのは、小・中・高校生や一般の方など約1,100人。午前8時に枕崎港外港で開会式が行われ、あらかじめ決められた場所に移動し、一斉にごみ拾いを行いました。

午前中かけて清掃が行われ、漁港に捨てられていたり海岸に打ち上げられたごみなど、集めた量はなんと約8トン。全国有数の漁港、枕崎漁港。美しさも全国有数であります。



看板悲しく・・・ 「ゴミ捨て禁止」の

写真は、枕崎港外港に設置しているゴミ捨て禁止を呼びかける看板です。見てのとおり、空き缶、弁当カスなどが看板のところに捨てられています。市水産商工課によると、回収してもまたすぐに捨てられているということです。

『この付近にゴミを捨てないでください。私たちの海や港をきれいに大切にしましょう。』ゴミで見えませんが、そう書かれています。

子どもたちの元気な歌声で合唱団が始動 ～枕崎少年少女合唱団が誕生

枕崎初、待望の枕崎少年少女合唱団が7月8日に誕生し、勤労青少年ホームで結団式が行われました。集まつた団員は小・中学生合わせて10人。当面は、今年11月に行われる市民文化祭に向けて練習していきます。

合唱団は、アカペラグループ「Lips」代表の中原佳代さんや元音楽教師の白澤玲子さん、ピアノ伴奏の中島ゆかりさんがボランティアで指導に当たります。市民の方々により設立し運営される合唱団は、県内でも珍しいということです。

結団式の後、早速練習を開始。「ドラえもん」や「世界に一つだけの花」を上手に歌い、今後の活躍が期待できる初回練習となりました。なお、引き続き団員を募集しています。【問合せ】中原佳代 TEL090-4989-0026



まくらざき朝市が園児の絵画で華やかに ～園児絵画展を朝市で開催

毎月第3日曜日に開催されている「まくらざき朝市」で7月16日、第1回園児絵画展が開催されました。

これは朝市の認知度を上げ、盛り上げようと行われたもので、市内園児651人が描いた絵画が会場に展示され、見物に来た客や買い物客などで賑わいました。展示会と一緒に表彰式も行われ、出展業者から出品した全園児に記念品が贈られました。



力強くオールを漕ぎ、全国大会出場 ～鹿児島水産高校が九州高校カッター大会で2位

九州高校カッター大会が7月13日、枕崎港外港で開催され、九州・沖縄の水産系8高校が出場し熱戦を繰り広げました。

大会は14人乗り・12人漕ぎのカッターで、直線の1000㍍(500㍍折り返し)の順位をトーナメントで競い合いました。地元の鹿児島水産高校は、全校生徒の大支援を受け、見事に決勝進出。決勝では翔南(沖縄)、海洋科学(大分)と手に汗握る大接戦を繰り広げました。結果は惜しくも翔南に敗れ2位となりましたが、昨年に続き全国大会への出場を果しました。



唄と三味線で笑顔のプレゼント ～「吟桜会」が市内の病院を慰問

民舞三絃道「吟桜会」(瀬戸口テル子代表)が7月18日、立神リハビリテーション温泉病院を訪れ、お年寄りたちとふれあいました。

「吟桜会」の皆さんは、月に2回ほど市内の病院や老人ホームなどを訪問されることは、お年寄りたちを唄と三味線で楽しませてくれています。

津軽三味線の定番曲「六段」の演奏が始まると、客席から三味線に合わせて調子よく手拍子。太鼓や唄の加わったお馴染みの「ハンヤ節」「枕崎音頭」といった曲が演奏されると、思わず立ち上がり踊りだす方もいらっしゃいました。



「EM菌団子」で牧園川をきれいに ～枕崎小児童がEM菌団子を作成・投入

枕崎小学校6年生96名が7月13日、総合的な学習の時間を利用して、EM(有機性微生物群)菌を混ぜて作った泥団子2800個を、牧園川の2地点で投入しました。これは、市内のEM菌取扱店の方の指導のほか、枕崎市生活学校の皆さんの協力を得て行われたものです。

EM菌を含んだ泥団子を水中に入れると、溶け出したEM菌がヘドロなどに作用して、透明度が増すということです。

児童たちは、EM団子を作って川に投げ入れる活動を通して、環境問題への関心をそれぞれ高めた様子で、揚野巧樹君は「団子作りは臭かったけど環境のため一生懸命作りました」と話していました。



夜光反射材の効果を実感 ～高齢者を対象とした交通教室

高齢者の方への交通教室が7月25日、南海自動車学校で行われ、大塚、大堀、牧園集落から約40人が参加し、警察署員から夜光反射材の効果などの講習を受けました。

全国的に高齢者が関係する交通事故が多発しています。夕方から夜間にかけて外出する際は、反射材を付けるなど目立つ服装を心掛けましょう。